

# 石油精製に係る諸外国における技術動向・規制動向等の調査・分析委託費

平成30年度予算額 **4.5億円（4.5億円）**

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- 国内石油需要の減少、国際競争の激化など、厳しい事業環境に直面する中、石油の安定供給を担う国内石油精製業者が、将来にわたり、製油所等の国内サプライチェーンを経済合理的かつ効率的に維持していくためには、国内外の市場で競合する他国企業・製品との比較において、我が国企業・製品の競争力を高めていく必要があります。
- このため、本事業では、競合相手となる諸外国の技術動向や、環境規制や品質規制など国際市場に流通する石油製品に係る規制動向などの調査・分析や定点観測を行い、環境規制等の国際ルール立案にあたっての政策提言や政策の企画立案に活用します。
- 具体的には、①諸外国の石油プラントの生産性・競争力に係る調査（設備増強や新技術の導入状況、非在来型原油（シェールオイル、オイルサンド等の従来利用されていなかった原油）の利用動向等）、②環境規制や品質規制等の国際ルールに係る調査（船舶用燃料の環境規制動向等）③新技術により生産される石油製品に係る製造プロセスや品質規格の動向（低粘度潤滑油の品質確認等）等について、調査・分析を実施します。

### 成果目標

- 平成23年度から平成33年度までの事業であり、本事業の成果については、環境規制等の国際ルール立案にあたっての政策提言や我が国のエネルギー政策の立案等に活用します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### 我が国の石油産業の直面する技術的・社会経済的課題



諸外国の技術・規制動向等の調査・分析を実施

政策立案・提言／情報提供